

製品名: STAT3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21331**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:88kD;Observed MW:88kD

抗原情報

遺伝子名	STAT3
別名	STAT3;APRF;Signal transducer and activator of transcription 3;Acute-phase response factor
遺伝子 ID	6774
SwissProt ID	P40763
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

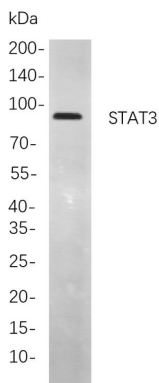
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、STAT タンパク質ファミリーのメンバーです。サイトカインや増殖因子に応答して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、ホモ二量体またはヘテロ二量体を

形成して細胞核に移行し、そこで転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、インターフェロン (IFN)、EGF、IL-5、IL-6、HGF、LIF、BMP2 など、様々なサイトカインや増殖因子に応答してリン酸化によって活性化されます。このタンパク質は、細胞刺激に応答して様々な遺伝子の発現を媒介し、細胞増殖やアポトーシスなど、多くの細胞プロセスにおいて重要な役割を果たします。低分子量 GTPase である Rac1 は、このタンパク質に結合し、その活性を制御することが示されている。PIAS3 タンパク質はこのタンパク質の特異的阻害剤です。この遺伝子の変異は、乳児期発症型多系統自己免疫疾患および過形成と関連しています。

研究分野

画像データ



MCF7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (STAT3 ウサギ mAb 使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。